

第3回常任理事会議事録

日 時 平成21年7月15日19時～21時00分

会 場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂

参 加 日野浦 津曲 岩田 日高 田邊 佐藤 花牟禮 内山 松尾 清山

欠 席 伊豆

議事録担当：清山

・第2回議事録確認

1) 報告事項

1. 会長

(日臨技「検査値標準化 WG」で計画している「基準範囲の設定」に関する説明資料に関することと、平成21年度日臨技都道府県公益受託事業については、事務局の日高さんからの報告とした。)

2. 事務局 (日高)

①事務連絡

- ・小林市立市民病院の求人依頼について、会報の別紙として各施設に配布した。
- ・宮崎県精度管理専門委員の囑託を宮崎大学病院の森田さんに承諾書と共に依頼した。任期は21年8月1日～23年7月31日までの期間である。精度管理上緊急を要するときに知事が召集する会議であるが招集はほとんどないと思われる。
- ・生涯教育と研究班勉強会の収支決算書と報告書を添付している。
- ・九州地区卒後セミナーの承認について血液研究班から上がってきているので承認の審議をお願いしたい。
- ・第44回九州医学検査学会の一般演題を宮崎から3演題出す。座長を3分野依頼が来ているので、演題発表者をお願いしたいと思う。発表と座長の時間が重ならないように長崎県と調整をしている。森田さん一般分野、中村さんには生理分野、微生物分野を日高が担当したいと思う。
- (日野浦会長) 学会には研究班各1題演題を出すようにしていただきたい。宮崎県で学会を開催するときに各県に演題のお願いをしているので、県としてもきちんと演題を出せるような体制づくりをお願いしたい。
- (岩田副会長) 研究班に誰がいるか分からないのが問題で、理事会で研究班の募集をかける必要があるのでないか。だから集まった演題しか出さなくなってしまっている。

・定期総会後の県庁提出用現況報告について

総会資料と総会議事録、会計の銀行口座の証明書を県に提出しなくてはならない。司法書士に書類をお願いしているが、時間がかかるようでまだ議事録署名に印をもらっていない。今回はこのまま県に提出することとした。県としては正会員と入退会の1正確な人数を把握したいようであるが人数としては正確に把握できていない。

そこで、正確な人数を把握するのに用紙の提出をお願いしたい。そこに希望の研究班を書いてもらい、研究班の人数を班長と班員が管理する。そうすることで学会の演題発表、演題依頼、座長依頼についても連絡調整がスムーズに行われるのではないかとと思われる。その提出する用紙については、今あるもので訂正して素案を作成し会員登録用紙として作り直したらいいのではないかと？

- ・日臨技より公益事業委託ということで3部門依頼があり、公益事業担当理事より、領収書は必要ないが、主要な内訳を添付してくれとのことであった。

- ・九臨技会議で九州医学検査学会発表の会員外共同研究者の名前掲載如何について会員の名前以外を抄録に掲載すべきかどうか、掲載料を日臨技なみにとるのか、従来通り無料をするのか各県持ち帰って検討することとした。今回、長崎県の九州医学検査学会では、日臨儀なみに徴収するとしているが、会計上問題であれば返金する用意があるとのことであった。
- ・時期日臨技会長に現小崎会長が立候補すること。副会長には現今村副会長の決意を待って応援することとした。
- ・今回、一般全国研修会を開催するがすぐに定員になって講義だけ受けて技師会の点数がもらえるかと日臨技に確認したが、講義と実習両方を受けた人に関してのみ点数を発行するという返答であった。
- ・標準化事業について
日臨技標準化事業の基準範囲にかかる経費としては、日臨技が一定額の予算措置をして対応したいとしていたが、お金として受け取れない施設があるのでそのような施設は使用する試薬を提供するとして予算措置をしたいとのことであった。

3. 庶務（清山）

21年度の未入金者 JAMTIS 上で33名。

生涯教育は5月が4件、6月が5件であった。6月4日に延岡で開催された精度管理勉強会の参加登録がされていないので組織理事の石田さんに連絡して登録をお願いした。参加登録が遅れていた日南の勉強会については参加登録されているので現在参加登録されていない生涯教育は1件のみである。

4. 会計（田邊）

- ・広告の賛助会員の受付を6月30日で締め切った。7月13日まで入金があったものを別表にまとめている。入金された賛助会員費は25万円であった。広告費の入金されていない業者には連絡済みである。
- ・日臨技教育研修助成金が47万2000円あった。

2) 組織（津曲）

①平成21年宮崎県公衆衛生功労者知事表彰候補者推薦について

- ・現在3名考えており、第1候補は健康づくり協会延岡支部長の永友啓子さんである。健康診断や公衆衛生に携わった人が対象なので医療機関では難しいと思う。永友さんが受けていただければ推薦するが、辞退すれば今年は候補者なしで考えたいと思う。
- 他、読売新聞社が出している医療功労賞がある。宮崎で何人か受賞しており、検査技師も受賞している経歴があるので出してみてもどうか。団体として県に推薦してそこから2人選ばれ全国に登録される。対象は50歳以上で現役であることである。

②平成21年度 AED 講習予定

- ・昨年延岡で開催したが、今年は都城で開催することにした。伊豆さんと一緒に今後進めていきたい

3) 学術

- ・会長が福見賞を受賞されたので今度の会報に掲載したいと思う。
- ・昨年の県学会の抄録だが、レイアウトが大きく発表者が具体的に書いているようにあった。 概要だけの簡単なものにした方がいいのではないかと 学術で検討することにした。

4) 審議事項

①学会準備について

- ・(案)開催場所：市郡医師会検査センター

開催日時：11月29日

で一般演題募集の案内を会報で流したいと思う

②広告記載申込書について、プロモーションガイドライン

- ・アボットより広告掲載申込書の正式なものをいただきたい、そうでないと賛助会員になれないとの連絡があった。 最近そのような企業が増えてきているので当技師会でも広告掲載申込書を作成したいと思う。 ただし、広告掲載料の合計は印刷代を超えてはいけない。
- ・ランチョンセミナーはプロモーション行動に抵触しない程度の常識的な範囲内であったら可である。

③広報担当理事・精度管理担当理事について

- ・他の技師会をみると広報担当理事がいて、メーリングリストや広報をすべて担当している。 事務局から会長、情報担当理事に流すよりも広報担当理事を置いた方が効率化が図れる。 精度管理事業も生化学担当理事が受け持つのはかなりの業務である。
- 理事数が20人以内であったら問題無いので、今後審議していく。

④日臨技公益事業について

HIVとメタボリックシンドロームと癌に関する公益事業を行う。癌は9月か10月に実施、HIVは12月、メタボリックシンドロームは2月に予定。名目と金額の内訳の報告が必要

⑤研修会の開催および非会員等の取り扱いについて

研究班の方から総会の後の説明だけでは手続きや非会員のお金の徴収などわかりにくい部分が多く、説明会をしてくれという要望があった。

そこで、宮崎県臨床検査技師会組織運営規定の第5章に補足及び付則第23条のところ規定していないものは理事会の議決を経て定めてもよいとのことで、「研修会等の開催（補則）」「研修会における非会員等取扱（補則）」という形で案を作成した。

非会員の研修会の参加費については、宮臨技の（企画した）勉強会であれば非会員（検査技師に限る）は3000円徴収する。 また血液疾患検討会や日本臨床細胞学会宮崎県支部の関連団体の勉強会でも同様に3000円徴収することにした。

次回、変更ある点を作り変えてもう一度審議する。

⑥卒後セミナーについて

平成22年2月21日に開催される血液研究班の九州地区卒後セミナーについては企画書・予算書とともに承認された。

次回開催日

8月18日（火）